

## 2024年新春 新年のご挨拶

和歌山県遊技業協同組合  
理事長 金 貴 如

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方には、つつがなく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また平素から、組合の諸活動に対し、ご支援、ご協力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

新年を迎え、私も気持ちを新たに身を引き締め、業界の発展に向け、精進する所存でございます。

さて、2020年からは、新型コロナウイルスの対策に迫われ、パチンコ業界も各ホールの皆様方において、できうる限りのコロナ対策を講じていただき、様々な防止対策を徹底して行った結果、私たち業界からのクラスターの発生は確認されず、昨年5月には感染症法上の位置づけが2類から5類に引き下げられました。

これらにつきましては、皆様方のご理解、ご協力のたまものと感謝しているところであります。

しかし、コロナ禍の影響により、全国的にも本県でもホール数が大幅に減少し、コロナ禍前のパチンコファンの回復には至っていません。

一昨年からは、スマートパチスロ、昨年はスマートパチンコの導入が始まり、また、ホール営業における広告宣伝につきましても、パチンコ・パチスロの魅力を一般の皆様にお伝えするための表現の幅がより明確になりました。

これからは、広告宣伝活動を適切に行っていただき、パチンコ・パチスロが「大衆に親しまれる身近で手軽な娯楽」であることを再認識するとともにファンの皆様に伝え、余暇に足を運んでいただける空間となるよう、業界全体で一致団結し、遊技業界の発展及び社会的地位の向上が一層推進されるよう皆様方とともに取り組んでまいります。

本年も、私たち遊技業界にとりましては、厳しい情勢が続きます。

パチンコ・パチスロ産業を取り巻く環境は、市場規模の縮小、遊技人口の減少、遊技機の高騰に加え、働き方改革に伴う運送業界における「2024年問題」への対応や、20年ぶりに本年7月前半を目処に行われる新紙幣への改刷対策等、様々な問題が控えております。

このような問題を皆様方とともに乗り切るために、和遊協といたしまして、これまで「和

遊協組合職員の削減」、「和遊協支部の統廃合・AMマーク制度の廃止」等、経費削減に取り組んでまいりましたが、今後の厳しい情勢等に対応し、組合員様の経費負担を更に軽減するため、「支援金の減額」、「通常総会開催会場の変更及び懇親会の廃止」等を実施するとともに、定例理事会及び支部会議の一部をZOOMで開催し、出席しやすい環境を構築するとともに、組合員間の距離を縮めてまいります。

今後も、目の前の問題を一つひとつ解決していくため、業界が一致団結してこの厳しい情勢を乗り越えていくように組合運営に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、より魅力ある業界にしていくために、組合員各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。